

核兵器の廃絶へ

被爆70年の今年、各支所でも原爆パネル展を実施

被爆者の皆さんを先頭に、被爆国日本た努力によって、国際政治で核兵器の非人道性、残酷性を追求し、その廃絶を求める流れが大きく発展しています。国連総会では、核兵器禁止条約の交渉開始を求める決議が圧倒的多数で採択されました。

【山崎】私は、昨年12月の市議会

で、市役所本庁で毎年8月に行われている原爆パネル展を被爆70年の今年を機に、各支所でも行うべきだと、提案しました。取り組みはどうでしたか。

【総務部長】被爆70年、さらなる反核、平和意識の啓発普及のため、本庁に加え、各支所のロビー等で実施しました。実施期間は



8月9日原水爆禁止世界大会

8月の3日から8月14日。ポスターを展示することにより、核兵器がもたらした被害の実相を直視し、核兵器廃絶の市民意識を喚起するとともに、戦争の悲惨さと平和の尊さを多くの市民に理解していただくとともに、あわせて平和意識の向上が図られたと考えています。

期間中は、核兵器禁止条約の交渉開始等を求める署名も実施しました。100名の署名が集まりました。

【山崎】原爆パネル展は来年以降もつづけていくべきだ、と思います。

【総務部長】本庁と各支所では来年以降も実施する。

【山崎】その他の施設でも実施すべきだ、と思います。

【総務部長】その他の施設では、スペースがあれば、検討したい。

上大垣・下大垣地域の防災対策について

上大垣地区は大きく変わりました。太陽光発電、相次ぐ大型店の出店や宅地開発などが行われているからです。「それぞれの施設で調整池などの排水対策を行うから、地域全体の排水対策などの見直しは必要ない」というのが市の立場です。

しかし、住民の声に押されて、皿川の改修が行われます。市道大垣鞍掛線の側溝整備も行われることになりました。



大型店の建設工事

【山崎】住民の不安は尽きません。先日の大雨の際にも、「大型店舗の建設が進められている下流域で水の流れが変わり、水かさが増えて膝の下くらいまで来た。子供たちの通学路だから不安だ」という声が寄せられています。市として、こうした不安にどう答えていきますか。

【建設部長】県と連携し、十分に管理指導して、地域の安全に努めていきます。

一生懸命に 山崎かずひろ議員



9月6日 平戸市民体育祭



8月9日 原水爆禁止世界大会



8月1日 未来創造館落成式



10月4日 北部健康まつり



10月1日 平戸市10周年式典



9月27日 平戸中学校体育大会



9月20日 上大垣敬老会には水戸黄門が登場